

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

福祉における課題の多様化(介護のみならず、障害、虐待、子育て、及び8050問題に代表される、個別課題の複合化等)が急速に進む中、ケアプラザとして十分に対応が追いついていない部分がある。そのため、ケアプラザとしてはケアプラザ一体となり、担当エリアの特性(課題だけでなく地域資源も含む)をこれまでのデータの蓄積から把握し、区役所との連携では高齢分野以外の部門と積極的に連携を図っていくことで体制の充実を図っていく。地域向けの対応としては、最近進めてきた多世代の活動団体育成をさらに充実させ、さつきが丘地域ケアプラザエリアの地域福祉の底上げを図っていく。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

—具体的な取組内容—

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日報入力の継続を行い、分析の結果を地域課題として地域ケア会議につながるよう区と包括のカンファなどで共有していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	多世代の住民を対象とした担い手育成のための事業を行う。(ママズキッチン、コーヒーボランティア、介護予防ボランティアなど) 高齢になっても活動が継続できる魅力ある講座や居場所の提案を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月1回のケアプラザ運営会議において、3ヶ月に1回程度の頻度で事例検討や地域課題について話し合う場を設け、連携した取り組みのための体制を構築する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	月1回の区と包括のカンファを実施し、情報共有を図る。その場に生活支援課も同席し、連携を図っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症キャラバンメイトとの協働による地域向けの認知症サポーター養成講座の実施する(若年層への認知症理解を深めるための小中学生対象講座(年3回)、地域向けの講座(年5回程度)開催を含む)。 認知症の方やその家族と接することが少ない若年層をはじめ、幅広い世代の地域住民に向け、認知症理解促進できるような取り組みを継続していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域特性を把握し、存在する社会資源ネットワークを把握した上で、既存のネットワークを生かしていく。 地域のみみんなの力を集結するための仕組みである協議体(年5回以上)の開催を継続的に行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>地域包括支援センターや居宅介護支援については、例えば相談者がケアマネジャーやサービス事業所を選定するに当たっては、本人の意向を十分に聞き取り、事業所の一覧等を提示し、本人の意思決定を支援するように援助するなど、サービスが特定の事業所や種類に偏らないように、利用者及び事業所に対して中立・公平な立場で引き続き対応するよう努める。地域交流活動については、ケアプラザの貸館手続きを毎月1日に2ヶ月後(一部団体は3か月後)の月一か月分の予約をとれるように変更し、重複した場合はくじ引きで決めるようにしている。こうした貸館の規定については、年1回利用団体向けの説明会を開催するとともに、来館時必要に応じて説明を行い、周知していく。利用者に対しては、地域包括支援センターに対する公正・中立性に関するアンケートや地域ケアプラザ全体の利用者に対するアンケートを実施し、利用者のご意見・ご指摘を頂くと共に、その結果を分析し、公正で、より良い施設運営に役立ていく。</p>	<p>事故防止に関しては、当法人作成の「事故対応マニュアル」の周知と研修の実施により、事故防止を呼びかけ、また事故発生時には、速やかに対応し、青葉区役所や横浜市への報告も行うように教育を徹底していく。</p> <p>ヒヤリハットが起きた時には、全員の共通課題として取り組み、原因についての検証と今後の改善策を話し合う。</p> <p>デイサービス送迎で使用する車両には、29年度末にドライブレコーダーを設置し、今後も日頃の運転状況について把握すると共に、安全運転教育に利用し、ご利用者の安全確保へのドライバーの意識向上を図る。</p> <p>個人情報への配慮に関しては、年度初めには、常勤・非常勤を問わず、職員全員に対し個人情報保護に関する研修を行い「個人情報保護に関する誓約書」に署名をもらい、横浜市長に提出する。中途採用の職員も同様に、その都度行うとともに、常に緊張感を持って個人情報に接するよう注意を促す。法人としても法人内研修で個人情報保護に関する研修を行いケアプラザのみでなく法人として個人情報保護に心がけていく。</p> <p>「個人情報取扱規程」のに基づき、漏洩防止・保護に努める。</p> <p>個人情報保護方針・個人情報問い合わせ担当者などを決めて、玄関に掲示し、ご利用者からの問い合わせ等に真摯に対応していく。</p>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	<p>日々の相談業務・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行いご本人ご家族の要望をききつつ、自立や強みを生かした支援・計画に取り組んでいる。3職種による、対象者へのコンサルテーション、方針の確認を随時行っている。要支援者自立者の介護予防を目指した在宅生活を目指し、計画を整えている。担当者会議、運営推進会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会をとらえ関係者や対象者に、地域情報・課題を周知している。広報誌やチラシにインフォーマル情報わかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に生かせるよう心掛けている</p>	<p>特定事業所加算Ⅲ事業所として計画的な研修実施及び職員一人ひとりの個別研修計画を作成しケアマネジメント技術を向上することにより、ご利用者ご家族が安心して自立した在宅生活を送ることが出来るよう支援する。また24時間連絡体制を確保、週1回カンファレンスを行い、支援困難ケースにも積極的に受け入れる。</p> <p>(1)利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公正中立な立場で支援を行う。</p> <p>(2)利用者の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けられるよう、心身の状況や環境、家庭、介護者の希望を考慮し、要介護状態の悪化防止となるようなケアプランを作成する。</p> <p>(3)利用者宅を定期訪問しサービス内容についてモニタリングを行い、サービスの実施状況の把握、サービス調整の必要性について確認を行う。</p>										
職員体制	<p>管理者 1名(常勤 兼務) 保健師 1名(常勤 専従) 社会福祉士 1名(常勤 専従) 主任ケアマネジャー 1名(常勤 兼務) プランナー 1名(非常勤 専従)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 5名(常勤専従3名) (非常勤専従2名)</p>										
利用者実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護
目標	<p>多様化するニーズに応えるため、質の高いサービスを提供する。通所介護計画書に基づき、個人目標の実現、ADL・IADLの維持に向けたサービスを提供する。</p>	<p>多様化するニーズに応えるため、質の高いサービスを提供する。通所介護計画書に基づき、個人目標の実現、ADL・IADLの維持に向けたサービスを提供する。</p>
実施体制	<p>【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:35 【定員】 49人</p>	<p>【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:35 【定員】 49人</p>



平成31年度「横浜市さつきが丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	14,343,747		14,343,747		14,343,747	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	18,333,747	0	18,333,747	0	18,333,747	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,354,000	0	8,354,000	0	8,354,000	
本俸	6,100,000		6,100,000	0	6,100,000	
社会保険料	550,000		550,000	0	550,000	
手当計	1,629,000		1,629,000	0	1,629,000	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	75,000		75,000	0	75,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,828,200	0	1,828,200	0	1,828,200	
旅費	106,276		106,276	0	106,276	
消耗品費	304,738		304,738	0	304,738	
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	447,418		447,418	0	447,418	
通信費	238,402		238,402	0	238,402	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	316,233		316,233	0	316,233	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,917		50,917	0	50,917	
職員等研修費	24,136		24,136	0	24,136	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	182,011		182,011	0	182,011	
手数料	13,558		13,558	0	13,558	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	144,511		144,511	0	144,511	
事業費	292,000	0	292,000	0	292,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	0	250,000	
管理費	7,191,227	0	7,191,227	0	7,191,227	
建築物・建築設備点検			0	0	0	
光熱水費	3,660,474	0	3,660,474	0	3,660,474	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	804,456		804,456	0	804,456	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械整備費	131,251		131,251	0	131,251	
設備保全費	1,151,724	0	1,151,724	0	1,151,724	
空調衛生設備保守	527,565		527,565	0	527,565	
消防設備保守	36,797		36,797	0	36,797	
電気設備保守	71,753		71,753	0	71,753	
害虫駆除清掃保守	34,038		34,038	0	34,038	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	481,571		481,571	0	481,571	
共益費	0		0	0	0	
その他	969,322		969,322	0	969,322	
公租公課	668,320	0	668,320	0	668,320	
事業所税			0		0	基本的に、この行は入力しません
消費税	668,320		668,320	0	668,320	
印紙税			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他( )			0		0	基本的に、この行は入力しません
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分			0		0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分			0		0	基本的に、この行は入力しません
二一対対応費			0		0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	18,333,747	0	18,333,747	0	18,333,747	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入			0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	0	0	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

## 平成31年度「横浜市さつきが丘地域ケアプラザ」

## 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,372,352		23,372,352		23,372,352	横浜市より
指定管理料（介護予防）	152,400		152,400		152,400	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,792,000		5,792,000		5,792,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	0		0		0	
収入合計	29,316,752	0	29,316,752	0	29,316,752	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,260,000	0	24,260,000	0	24,260,000	
本俸	12,350,000		12,350,000		12,350,000	
社会保険料	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
手当計	8,560,000		8,560,000		8,560,000	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金	350,000		350,000		350,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他			0		0	
事務費	1,636,352	0	1,636,352	0	1,636,352	
旅費	187,332		187,332		187,332	
消耗品費	92,960		92,960		92,960	
会議開い費	0		0		0	
印刷製本費	166,080		166,080		166,080	
通信費	205,260		205,260		205,260	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	744,944		744,944		744,944	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	57,651		57,651		57,651	
職員等研修費	66,380		66,380		66,380	
振込手数料	0		0		0	
リース料	8,817		8,817		8,817	
手数料	33,495		33,495		33,495	
地域協力費	0		0		0	
その他	73,433		73,433		73,433	
事業費	1,294,400	0	1,294,400	0	1,294,400	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	200,000		200,000		200,000	
指定管理料充当 事業（介護予防）	152,400		152,400		152,400	
指定管理料充当 事業（生活支援）	312,000		312,000		312,000	予算：指定額
管理費	2,126,000	0	2,126,000	0	2,126,000	
建築物・建築設備点検			0		0	予算：指定額
光熱水費	1,089,880	0	1,089,880	0	1,089,880	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	239,520		239,520		239,520	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械警備費	39,078		39,078		39,078	
設備保全費	342,913	0	342,913	0	342,913	
空調衛生設備保守	157,078		157,078		157,078	
消防設備保守	10,955		10,955		10,955	
電気設備保守	21,364		21,364		21,364	
害虫駆除清掃保守	10,133		10,133		10,133	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	143,383		143,383		143,383	
共益費	0		0		0	
その他	288,609		288,609		288,609	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,316,752	0	29,316,752	0	29,316,752	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0		0		0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0		0	自主事業経費
自主事業収支	0		0		0	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成31年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市さつきが丘地域ケア

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2760		2760	26430		26430	79263		79263			0
	その他	0	0	0	0	0	0	1961	0	1961	7200	0	7200
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0	7200		7200
	寄附金収益等			0			0	271		271			0
	雑収入			0			0	1690		1690			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>2760</b>	<b>0</b>	<b>2760</b>	<b>26430</b>	<b>0</b>	<b>26430</b>	<b>81224</b>	<b>0</b>	<b>81224</b>	<b>7200</b>	<b>0</b>	<b>7200</b>
支出	人件費			0			0	70116		70116			0
	事務費			0			0	6190		6190			0
	事業費			0			0	18053		18053			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
<b>支出合計(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>94359</b>	<b>0</b>	<b>94359</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>2760</b>	<b>0</b>	<b>2760</b>	<b>26430</b>	<b>0</b>	<b>26430</b>	<b>-13135</b>	<b>0</b>	<b>-13135</b>	<b>7200</b>	<b>0</b>	<b>7200</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

平成31年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	
事業の性質	1 優先的に取り組みが求められる事業	

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業 と3 (1と2)	主な 対象者	従たる 対象者	事業の 性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施 回数	延べ参 加人数
1	にこにこ茶話会	平成14年度	7 共催(1と2 と3)	1 高齢者	5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	地域の高齢者の閉じこもり防止、仲間づくりや生きがい支援を目的とする	ボランティアグループを招き、コーラス、楽器演奏、読み語りなどを鑑賞した後、茶話会を行う。年に2回は、映画上映会を行う。8月、10月を除く年10回第3土曜日13:30～15:00に開催。レクリエーションや茶話会のため、食遊クラブのメンバーによるボランティアサポートあり。		
2	介護者のつどい	平成12年度	2 包 括	1 高 齢 者	5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	家族を介護している介護者、家族を介護した経験のある方の心身の介護負担軽減を図ることを目的とする	介護者同士が気軽につどい情報交換できる場として茶話会を開催する。介護者が困っていること、疑問に思っていることなどを共有しリフレッシュできるような場とする。8月、9月、1月を除く年9回開催。		
3	しらとりカフェ	平成29年度	7 共催(1と2 と3)	1 高 齢 者	5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	CPまで距離がある、しらとり台地域にお住まいの地域住民、認知症の方などが気軽に集える場を提供する。	8月、12月を除く年10回、第4火曜日の9:30～10:30、しらとり台のBondysCafelにて開催する。		
4	つつじカフェ	平成29年度	7 共催(1と2 と3)	1 高 齢 者	5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	地域住民、認知症の方などが気軽に集える場を提供する。将来的にはボランティアが運営できる地域の拠点づくりを目指す。	4月、8月、12月を除く年9回、第1水曜日の10:30～11:30、つつじが丘のBADAI BASE(バダイベース)にて開催する。茶話会形式で、趣味や学習、健康介護相談、情報交換、権利擁護の情報提供などを行う。		
5	認知症サポーター養成講座	平成24年度	7 共催(1と2 と3)	5 地 域	1 ・ 4 ・ 7 ・ 5 ・ 6 ・	1 優 組 先 的 に 取 り	認知症の理解を深め地域で温かく支える担い手の支援・人材発掘	認知症についての正しい知識や接し方を学ぶ(地域住民向け、地域の小中学校向け等)		
6	朝活！体操	平成29年度	7 共催(1と2 と3)	1 高 齢 者	5 ・ 7	2 発 展 さ せ る ね	介護予防、健康増進、仲間づくり	専門家を招いて身体の各部位に有効な体操を丁寧に説明しながら進める。毎日できるセルフケアを習慣づける講話や実践を繰り返す。ハマトレを取り入れる。保健活動推進員の指導も取り入れている。		
7	いきいきセミナー修了生の活動	平成14年度	1 地 域 交 流	1 高 齢 者	5 ・ 7	2 発 展 さ せ る ね	定年後の地域の男性の社会参加。地域での仲間や生きがいづくり。地域の担い手育成。(1期生から5期生まで5団体、OB会の活動※縦割り活動)	調理実習、課外見学、自己啓発、健康づくり、ボランティア活動。1期～5期生までの5団体の各活動と館内外での縦割り活動。		
8	食事会①・②	平成15年	7 共催(1と2 と3)	1 高 齢 者	5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	高齢者の外出促進と地域交流	食事会①/粋生きクラブ共催。食事の提供と見守り。食後はハーモニカ演奏に合わせて歌を数曲歌う。午後は珈琲を楽しみながら地域で活動している多様な分野のゲストを招いてその活動を観たり、参加する。食事会②いきいきグループ共催。食事を提供する。食後は漢字の脳トレを行う。奇数月①②各1回開催		
9	ひまわりヨガ	平成29年	1 地 域 交 流	5 地 域	5 ・ 2 ・ 3 ・ 4	2 発 展 さ せ る ね	障がい児者・不登校の児童への活動支援への理解と見守り活動。支援者の発掘。ヨガを通じての健康増進と仲間づくり。	横浜みどりの学校ひまわりの講師によるヨガ(ハタノ式)教室。投稿している親、学校を支えるボランティア、地域住民の方々との交流。		
10	いきいきセミナー	平成15年	1 地 域 交 流	1 高 齢 者	1 ・ 5 ・ 7	1 優 組 先 的 に 取 り	地域向けセミナーを活動団体が主催することで、地域貢献へのやりがいの芽を育てる。地域の新しい人材へケアプラザを周知する。新しい人材を掘り起こし、各活動への参加を呼び掛ける切っ掛けづくりとする。	毎年各期で考案し、地域住民も招いて、園芸セミナー、防災セミナー、落語会、他開催。		
			7			1	高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくり	民生委員が主催の茶話会。情報交換、見守り、介護予防の啓発など		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	おしゃべりサロン	平成16年	共催(1と2と3)	1 高齢者	5 7	優先的に取り		リ、介護予防の音楽など。		
12	健康体操	平成16年	共催(1と2と3)	1 高齢者	5 7	発展させるねらい	心身の健康維持、介護予防、仲間づくり	講師を招いて行うシニア向けの優しい体操。年に2回ランチ会も行っている。		
13	子育てワイワイ広場	平成16年	1 地域交流	5 地域	5 2 3 4	優先的に取り	就園前の親子の居場所づくりと交流	民生委員や地域のボランティアの見守りの中、おもちゃを出したスペースに自由に親子が集う。コーヒーを入れて母親にリラックスした時間を提供し、子育ての悩みや問題を受ける相談窓口が常にあることを伝える。絵本の読み聞かせを行う。		
14	ニコピカ歯磨き	平成18年	1 地域交流	3 乳幼児	3	優先的に取り	専門機関と連携し、地域の親子へ口腔衛生指導を行う。コミュニケーションが目的。	区役所から保健師を招いて、虫歯の予防についての講話や虫歯チェックを行う。		
15	さつきが丘秋祭り	平成12年度	共催(1と2と3)	5 地域	5	優先的に取り	地域に向けてのケアプラザの周知。ボランティアの活躍の場の提供。世代間交流。	ボランティアと職員による模擬店。地域の団体の催し。子どもからおとなまで楽しめるイベント。警察、ヘルスマイト、保活など専門機関との協働で地域向けの啓発活動。		
16	いきいき手先講座	平成22年	1 地域交流	5 地域	1 4 5 7	優先的に取り	登録団体とケアプラザ、地域の方との交流。高齢者の引きこもり防止。多世代交流。趣味活動の促進。	手先を使う趣味の活動を、現在団体2で活動している講師や会の方に、地域向けに講座を開設してもらい、ビーズ小物、中国ひも講座、つるし雛、フラワーアレンジメント、手縫いの小物製作、手芸用モールの小物、木を使った工作など		
17	みんなの麻雀	平成30年	1 地域交流	1 高齢者	1 5	優先的に取り	高齢者の見守り、仲間と生きがいつくり、引きこもり防止。介護予防	介護予防で始めた健康麻雀のメンバーと近年CPでボランティアの指導の下初心者クラスに参加した方の卒業後の居場所づくり。ボランティアも参加して予約なしで集まって麻雀を楽しむ。		
18	さつき健康麻雀(2期生)	平成28年	1 地域交流	1 高齢者	1 5	2 発展させるねらい	外出促進、技能向上、仲間づくり、生きがいつくり、ボランティア育成	地域の方がボランティアとして麻雀講師を務める。初心者のみで開講し毎回席はくじ引きで決める。講師を含め、実践しながら麻雀の技能をアップしていく。2年で卒業してグループ化をして活動する。		
19	包括権利擁護講座	平成23年	2 包括	5 地域	1 2 5	1 優先的に取り	地域住民への啓発活動	平成30年度は「整理術」と青葉警察署を招いて「防犯講座」を行った。そのアンケートをもとに31年度も2講座を予定している。		
20	はなみずき	平成23年度	共催(1と2と3)	1 高齢者	1 2 7	1 優先的に取り	高齢者、障がい者の安否確認。見守りを目的とした昼食提供。	月1回の配食。ボランティアによる手作り弁当。さつきが丘CPエリア内対象		
21	さつき盆踊りの会	平成27年	2 包括	1 高齢者	1 5 7	2 発展させるねらい	盆踊りを通して、健康づくり。介護予防、地域交流を目指す。	元気づくりステーション。仲間と盆踊りを踊る。地域やケアプラザの祭りに出演の機会もある		
22	自主活動団体懇親会	平成26年	共催(1と2と3)	5 地域	5	1 優先的に取り	ケアプラザの活動周知、避難経路伝達。団体同士の顔の見える関係づくりや活動発展のきっかけづくりとする	自主活動を行っている、団体の代表や講師を集めて、ケアプラザの避難経路の説明やボランティアを行うときに注意などケアプラザ側からの情報発信と団体側の報告や展望などを一堂に会して共通理解を深める場とする。同時開催の認知症セミナーも開催する。		
23	あおぼ子ども食堂	平成29年	1 地域交流	4 子ども	1 4 2 5 3	2 発展させるねらい	地域の貧困家庭の子ども支援	地域のボランティアさんの支援でおにぎり、具沢山の味噌汁などを提供する。来館の子どもや親子を見守り必要に応じて専門機関へつなげ課題の解決の糸口になる活動を目指している。		
24	紀行/欧州旅行へのお誘い	平成27年	1 地域交流	5 地域	1 5 7	2 発展させるねらい	ケアプラザの活動周知、シニアの外出(旅行)を通してのコミュニケーションや生きがい、仲間づくり。	講師を招いて、全4回の講座を開講。スイス、イタリア、スペインなどをテーマに写真の公開、見所や旅行プランのアドを含めた楽しい講話。		
25	古典文学を楽しむ講座	平成27年	1 地域交流	1 高齢者	1 5	2 発展させるねらい	高齢者の引きこもり防止。古典文学に親しむ。講座を通して仲間づくりや交流。	参加は概ね高齢者。古典文学を講師と深く読むこむ。音読を取り入れる。平成30年度は枕草子の継続と新規で平家物語講座開設		

番号	事業名	開始年度	事業 対象者	主な 対象者	従たる 対象者	事業の 性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施 回数	延べ参 加人数
			域 交	者 者	7					
26	ボランティア感謝会	平成23 年度	(1 7 2 3) 共 催	5 地 域	5	に 取 り 優 先 的	ボランティアへの感謝の会	平成30年度はイタリア料理店ジェノバで開催。 50名。		
27	ママリラTIME 背骨コンディショ ニング～	平成27 年	1 流 域 交	5 地 域	3 ・ 7	せ る な ら い	就園前の親子の居場所づくり	講師を招き、姿勢についてや背骨の発達を意 識した体操を行う。お子さんが小さくて外出が できない母親のストレス発散ができる体操を 行う。傍らの子どもも触れ合う体操をとおして親 子のコミュニケーションを図る。		
28	きれいのヨガ	平成27 年	1 流 域 交	5 地 域	1 ・ 5 ・ 7	せ る な ら い	夜間の貸館稼働率の向上。地域の就労者層 への周知。若年層への周知。地域住民の健康 促進。地域交流。	若年層レベルの少しハードなヨガ。		
29	フェリーチェ	平成27 年	1 流 域 交	4 子 ど も	1 ・ 5 ・ 2 ・ 7 ・ 3	に 取 り 優 先 的	地域の親子の居場所づくりと、近隣の子育て 支援団体との交流が目的。登録団体同士の 顔の見える関係づくりと活動の場の提供。	子育て支援をボランティア活動にする団体が 毎月第3火曜日に集い地域向けの読み語り、 手遊び、歌などを披露する。		
30	日本赤十字者講座 ／救急法資格取得 講座	平成27 年	1 流 域 交	5 地 域	5 ・ 6 ・ 7	に 取 り 優 先 的	家族、地域、職場での救命率の向上。地域住 民の防災へ関心度アップ。地域の担い手育 成。仲間づくり。	青葉区社協共催、日赤講師を招いての4日間 の資格取得講座		
31	さつき健康食堂	平成28 年	(1 4 2 2) 共 催	1 高 齢 者	1 ・ 5	に 取 り 優 先 的	高齢者の居場所づくり。健康増進。多世代交 流。介護予防。	保健師を中心に健康講話と調理実習、食事会 を行う。平成31年度は腸活、オーラルケア、バ ランスよい食事の組み立て方を専門家を招い て年間2～3回行う。		
32	コグニサイズ	平成29 年	2 包 括	1 高 齢 者	1 ・ 5	せ る な ら い	高齢者の健康づくり。仲間とやりがいづくり。 介護予防。	専門の講師を招いて、体と頭を使うプログラム をメインに講座を開設。スクエアステップも取り 入れて、保健師も参加し介護予防について啓 発する。地域の高齢者の見守りと健康づくり。		
33	劇団さつき	平成28 年	(1 7 2 3) 共 催	1 高 齢 者	1 ・ 5 ・ 7	せ る な ら い	オリジナルの劇に加え、権利擁護講座の寸劇 や認知症サポーター養成講座などでの寸劇 ボランティアの育成。演劇を通しての啓発活 動。地域住民通しの交流。	引き続きオリジナルで「オレオレ詐欺」、「還付 金詐欺」の寸劇を地域住民へ披露する。毎月 定例会、演技レッスンをしながら、地域向けの 劇と「今年は白波五人男」へ挑戦する。		
34	のびのび体操	平成27 年	2 包 括	1 高 齢 者	1 ・ 5 ・ 7	せ る な ら い	介護予防。健康促進。生きがい、仲間づくり。	講師を招いての体幹を鍛える体操。		
35	ハッピードロップ	平成28 年	1 流 域 交	5 地 域	1 ・ 5 ・ 7	せ る な ら い	地域の子育て世代から高齢者支援までの読 み語り活動の展開。世代間交流。ボラティア 育成。	講師を招いて発声練習、絵本の読み語りの基 礎を学び、さつきが丘CPを拠点に青葉区内で 活躍するボランティア育成を行う。31年度は増 員のため講座を行い新しい担い手の発掘を行 う。年に1～2回地域向けの絵本コンサートを 行う。		
36	子どもダンス塾	平成30 年	1 流 域 交	4 子 ど も	4 ・ 5	に 取 り 優 先 的	小中学生の放課後支援。ボランティアの活躍 の場の提供。地域の子どもの見守りと交流。 エリア学校との連携。子どもの生きがい、やり がいのきっかけづくり	講師を招いて、放課後にダンスを教える。青 葉区の中生ミュージカルのような地域活動 に参加する新たな担い手発掘も目指す。		
37	さつきシネマ	平成28 年	(1 5 3 3) 共 催	1 高 齢 者	1 ・ 5 ・ 7	せ る な ら い	地域に潜在している新しいケースを見つけ出 すきっかけづくり。休日の要介護者の居場所 を視野に、介護者の負担軽減なども目的と する。この活動を通じてのボランティア育成も 目的。	31年度はシネ☆あおぼというボランティアグ ループが育成され、上映作品企画、会の運営 を全面的に行う。ケアプラザは後方支援を行 う。		
38	さつま芋植え付け、 収穫体験会	平成30 年	(1 7 2 3) 共 催	5 地 域	6 ・ 4 ・ 2 ・ 7 ・ 5 ・ 3	に 取 り 優 先 的	地域住民同士の交流。子どもの農業体験と食 育。	地域の畑をかりて、さつまいもの苗の植え付 け、収穫体験。		
39	長津田厚生総合病 院共催 健康セミ ナー	平成28 年	(1 4 2 2) 共 催	5 地 域	1 ・ 5 ・ 7	に 取 り 優 先 的	健康に対する知識の啓蒙。ケアプラザの周 知、身近な健康についての困りごとを解決す る切っ掛けづくり。	同法人の医療機関の医師を招き、身近な健 康についての講話を行う。質疑応答で個々の 不安要素を軽減する。また、本人・家族の健 康相談からエリア内の埋もれた情報をリサー チする機会を作る。消化器、眼科の講座を開 催する。		
40	ガンバルンバさつき 組 谷本中学校学 習支援	平成28 年	1 流 域 交	4 子 ど も	4 ・ 5	に 取 り 優 先 的	余暇、中間・期末テスト前のエリア中学校(谷 本中学校学生)への学習支援	学校と協議の上期間を設け、中学生の学習ス ペースの提供と見守り活動。保護者への承諾 書を事前に学校を通して配布。予約制。		
41	食育講座	平成27 年	1 流 域 交	5 地 域	1 ・ 3 ・ 4	に 取 り 優 先 的	地域の子どもや保護者、高齢者などの栄養と 食育。	ヘルスマイトやエムズキッチンなどと共催。「働 き盛りの子育て世代への食育」また後期は高 齢者向けの企画を実施する。毎年テーマを 持って地域へ食育の啓蒙。「青葉台・藤が丘 地区」のヘルスマイトとの共催。		
42	親あるうちに考える 講座	平成25 年	(1 7 2 3) 共 催	5 地 域	2 ・ 5 ・ 7	に 取 り 優 先 的	地域の専門職種との連携。地域の精神や障 がいのある方が家族にいる方の潜在したニー ズを引き出す。ケアプラザ、包括ケアシステム の周知啓蒙。	青葉台地域ケアプラザほっぷの職員との協働 事業。サロン形式でケアプラザを利用。職員も 入って地域のニーズを拾う。		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
43	珈琲ボランティア育成講座	31年度	(1と2と3) 7と2と3) 共催	5 地域	1 2 5 3	2 せ ね ら い さ	地域の新しいボランティアの発掘、育成。地域ニーズの把握とボランティア活動と人材のマッチング。ボランティア管理システムの構築と地域住民主体の担い手の確保、育成、活用ができるグループ作り。	恵田のあかねサロンをモデルにさつきが丘OPでボランティアを育成する。美味しい珈琲の入れ方講座を2日間、2クール行い。定例日を作って集う仕組みを作る。秋祭りや親子の集いの場で実践する機会をもつ。		
44	さつきリミック	平成29年度	1 流地域交	4 子子ども	2 3 4	1 に 取 り 組 み 的	地域の親子のコミュニケーションと住民同士の交流。子どもの音楽・右脳教育。ケアプラザの周知。子育て支援、虐待、育児のノイローゼ未然防止。専門機関へのワンストップサービス。	専門家を招いての1、2歳児のレッスンを。リズムや音感をボールや布親子し安く豊富な教材でレッスン。		
45	歌の会	平成28年	1 流地域交	1 高齢者	1 5	2 せ ね ら い さ	高齢者の引きこもり防止。健康と仲間づくり。介護予防。	ハーモニカ奏者を招いて、季節の歌を歌ったり、ハーモニカの演奏を聞いて楽しむ		
46	四季のコンサート	平成28年	1 流地域交	5 地域	1 4 2 5 3	1 に 取 り 組 み 的	地域で活躍中の個人やグループを知ってもらふ。またその活動への参加者を募る。地域の活性化。参加者同士のコミュニケーションを図る	7月に七タコンサートを行った。午前は0歳からのコンサート。午後はアイメイト協会共催のソロコンサート開催。		
47	余暇支援	平成28年	1 流地域交	4 子子ども	4	1 に 取 り 組 み 的	夏休みの子どもの居場所づくり。夏休みの自由研究課題。	科学実験教室や工作、また食育や遊びの広場などを取り入れながら、夏休みの子どもたちの地域の見守りの場を提供する。		
48	区民文化センター共催事業	平成28年	1 流地域交	5 地域	5	1 に 取 り 組 み 的	青葉区民文化センターと協働し、地域のコミュニティをひろげる。	アウトリーチでケアプラザに演奏家を招く他、夏休みに「太鼓」づくりをケアプラザで行い、フリアホールイベントに参加していただく企画を実施した。また昨年から「あおばカノン」への協働も行い、出演団体や模擬店の出店団体の活動支援を行う		
49	日本赤十字社防災ボランティア養成講座	平成30年	1 流地域交	5 地域	5	2 せ ね ら い さ	青葉区社協の後援もあり、日本赤十字社のカリキュラムを利用して地域の方へ防災の正しい知識を啓発、また実践をし地域でも防災ボランティア育成につなげる。	日本赤十字社指導員養成講座取得後のスキルアップとして導入した。受講後は登録制で防災ボランティアとして活躍の場がある。(養成講座修了生限定の講座)		
50	横濱本よみ亭	平成30年	1 流地域交	4 子子ども	4	1 に 取 り 組 み 的	子どもに読書の素晴らしさを啓発する。愛読書について発表したり、情報交換をする中でコミュニケーションを作る。子どもには発表することで、自信をもってもらふ。	夏休みの余暇を使って怪談をテーマにトークショーを行い、自身の推薦書籍を紹介するなど。「夏の怪談ライブショー」、「妖怪探取」		
51	まっぴい青葉の街	平成30年	1 流地域交	5 地域	5	2 せ ね ら い さ	青葉区の歴史や地域を表す、展示物を夏休み期間中ケアプラザ内に展示をし、地域の方々に知ってもらふ。	「まっぴい青葉の街」の皆さまに展示をしてもらい、一定期間掲示する。一定期間内に200名くらいは展示をご覧いただけた。		
52	こどもハロウィンまつり	平成29年	1 流地域交	5 地域	3 4 7	2 せ ね ら い さ	青葉台地区社協のエリア限定で親子の居場所づくり。地域の親子層のコミュニケーション。ボランティアの活躍の場の提供。地区社協の活動周知。ケアプラザの周知。	青葉台地区社協の福祉部と青葉台地域ケアプラザとの協働。地域をバレーし、高齢者施設で交流。地域の福祉拠点、学校などを回りお菓子をもらう。写真撮影。地域のボランティア、民生委員のサポートもあり。		
53	歩こう会	平成27年	2 包	1 高齢者	1	2 せ ね ら い さ	地域の高齢者の健康促進、引きこもり防止。仲間づくり。	包括保健師を中心に市内各所をグループで歩く。		
54	ボールウォーキング	平成30年	2 包	1 高齢者	1	2 せ ね ら い さ	地域の高齢者の健康促進、引きこもり防止。仲間づくり。	保健師指導のもとボールを使用し包括エリア内の歩く。		
55	ママズキッチン	平成31年	1 流地域交	5 地域	3	2 せ ね ら い さ	0歳児の親の地域デビューの後援。育児負担の軽減。ケアプラザの周知。地域活動への参加の切っ掛けづくり。	主婦と高齢者のボランティアが調理して子ども連れで集まれる居場所の提供を行う。地域の珈琲ボランティアが珈琲を提供。		
56	初心者向けウクレレ講座	平成31年	1 流地域交	5 地域	1 5 7	2 せ ね ら い さ	地域住民同士の交流。遣り甲斐づくり。ボランティアの育成。新しい人材の発掘。ケアプラザの周知。	講師を招いて月2回ウクレレを学ぶ。		
57	さつきコーラス	平成31年	1 流地域交	5 地域	1 5 7	2 せ ね ら い さ	高齢者の健康づくり。引きこもり防止。多世代交流。音楽を通じた仲間と遣り甲斐づくり。	月1回講師を招いてコーラスを楽しむ。		
58	いきいき総会	平成31年	(1と2と3) 7と2と3) 共催	1 高齢者	1 5 7	2 せ ね ら い さ	ボランティア活動団体の後援。高齢化による団体活動停止を未然に防ぐ。団体同士のつながりを強化して、課題の共有と解決を図る。	1～5期の代表による会議。半期に2回テーマ持ち寄りでの課題の共有や解決を見出す。		
59	パチュータ	平成31年	(1と3) 5と3) 共催	5 地域	1 4 2 5 3	2 せ ね ら い さ	地域の課題抽出、問題解決。新しい人材の育成。支えを必要としている地域住民への支援の仕方を考える。	稼働中のボランティアから有志を募り、地域に何が必要か意見交換をし、解決に向けた活動展開を行う。地域の不登校児童の支援も行う。		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	参加人数
60	浮世絵から学ぶ日本文化	平成31年	1 流地域交	5 地域	1 ・ 5 ・ 7	2 せるねらい ・ 展 ・ さ	日本の歴史に興味を持ち学ぶ楽しさを知る。興味を持った高齢者のグループ化と活動支援。	プロジェクターに浮世絵を映し出している講話。浮世絵や日本文化、歴史について話す場の提供。浮世絵を集めて注釈をつけ、地域の多世代に講座を開催できるグループ作り。		
61	社交ダンス講座	平成31年	(5 1と3 )	5 地域	1 ・ 5 ・ 7	2 せるねらい ・ 展 ・ さ	ケアプラザやかがやきクラブの活動周知。介護予防。仲間、やりがいづくり。	かがやきクラブのクラブ活動の衰退を活性化するための共催事業。講師を招いて初心者向けの社交ダンス講座を開催し自主化を目指す。		